

京丹後市GIGAスクール構想の進捗状況等

京丹後市教育委員会事務局 学校教育課

資料 2 - 1

京丹後市GIGAスクール構想及び新型コロナウイルス休校対策(内部資料)

番号	区分	令和2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和3年1月	2月	3月	4月	内容
1	高速校内LAN契約済 9月詳細設計以降10月から着工予定 富田		●入札 現場調査・詳細設計・物品調達・構築工事						小規模校から順次完成・使用可能			全小中学校23校に、児童・生徒・教員・常勤教職員1人1台のタブレット端末が、校内のどの教室でも接続可能な、高速校内LANを整備する。
2	タブレット端末購入 入札/9/10 議決10/2		●入札 ●議決 契約						導入作業			新型コロナウイルス対応のため、前倒して、今年度中に1人1台のタブレット端末を整備する。 児童・生徒3,832台 常勤教職員等420台 府教委の選定によりiPadを導入する。
3	タブレット端末用光回線	●回線申し込み	接続工事順番待ち 約3カ月							1回線分契約 (作業用)	4回線分契約	約4,200台のタブレット端末をインターネット接続するための光回線を新設する。 現在使用している無料の京都府からネットは、府内小中高の増え続ける端末に対応できなくなっており、通信に支障が出ているため、府は改修予定なし。 学校からの通信をみらいネットから新設光回線に接続するための、経路変更作業を行う。 各校の校内LANの機器(ルータ)設置に合わせ、行う必要があるため、11月から光回線1回線を新設して順次対応する。 2月には光回線対応を行う。
4	光回線経路変更業務								校内LAN構築作業で各学校に新機器が導入されるのに合わせ光回線設定・試験を行う。			電子黒板導入業務、小学校1・2年教室及び未整備の特別支援教室へ導入する。32台 小学校3年から中学校3年の教室・特別支援教室には整備済み。151台
5	電子黒板購入 (小学校1・2年・特別支援教室) 入札/9/9 議決10/2		●入札 ●議決 契約						納品作業			児童生徒が新型コロナウイルスに感染した場合、学校または町域単位で、1~2週間の休校を行うこととしている。
6	GIGAスクールサポート委託 委託契約済(9月から2名) 総合サービス								校内LAN業者との技術的対応・現場対応の支援、オンライン授業を実施するための準備・練習などの支援。			校内LAN等高度なICT化が進む期間や、新型コロナウイルス休校対応において、技術的支援を行う支援員を配置する。
7	新型コロナウイルス								休校は、学校単位または町域単位で1~2週間程度 オンライン環境への練習期間として位置づけ、学校・家庭間で練習を行い、休校になった場合はオンラインでのやりとりを実施する。			児童生徒が新型コロナウイルスに感染した場合、学校または町域単位で、1~2週間の休校を行うこととしている。
8	学校用WEBカメラ購入 契約済 10月中納品予定 淀橋		●入札 調達・納品						オンライン授業等の準備・練習・試行			コロナ休校となった場合、オンライン授業等を行うための学校のWEBカメラを、全クラス教室に備える。
9	貸出用家庭用Wi-Fiルータ購入 契約済 10月中納品予定 富田		●入札 調達・納品						インターネット回線がない家庭へ必要台数を貸し出す。			アンケート結果に基づき、インターネット固定回線のない家庭用のWi-Fiルータを購入し、希望者へ貸し出す。
10	貸出用家庭用Wi-Fiルータ 通信料								ルータ通信費。			インターネット固定回線のない家庭へWi-Fiルータを貸し出し、その通信料を負担する。
11	貸出用タブレット端末 フィルタリングソフト購入		●入札 納品						端末インストール・ルータ設定作業			中学校に既設後学習用に整備したタブレット端末240台に、有害サイトフィルタリングソフトを導入し、家庭でインターネットに繋がるよう整備して、端末のない家庭へ貸し出す。
12	高速インクジェット印刷機・校務用プリンタ購入 入札/9/9 議決10/2		●入札 ●議決 契約						導入作業			老朽化し修理対応期間が終了した学校のプリンタを更新するとともに、学団単位で高速カラープリンタを導入し、共同利用により印刷コストを抑えるとともに、学習の遅れを取り戻すための課題・教材作成を推進する。
13	授業支援システム	●経産省 Edtech採用予定							システム選定			経産省の委託事業の採択を受け、授業支援システムを無料で試験導入できる見込み。久美浜学園で試験導入中のローノートを選定。

「GIGAスクール構想」を早期に実現し、高度情報化社会における児童・生徒の資質・能力を育むための環境を整備
併せて、新型コロナウイルス感染症対策として学校休校時に、すべての児童・生徒の学びを保障するため、自宅等でのオンライン授業を可能とする機器整備を行い、年度内からオンライン授業の訓練を順次実施



児童・生徒・教職員1人1台端末整備

小中学校の児童・生徒・教職員へタブレット端末を整備
 小学 2,462台 教職員 420台 合計 4,252台
 中学 1,370台 合計 4,252台
3億6,567万円

端末をインターネットに接続する光回線を整備
149万円

電子黒板を全普通教室へ整備

小学校1・2年教室に電子黒板を整備（52台）
5,432万円
 ※全クラスへの電子黒板整備完了



その他ICT機器整備

学校間で共用できる高速プリンタ・ファイルサーバーを整備し、効率化と低コスト化を実現
3,795万円
 職員室ファイルサーバー（2台）
 高速カラープリンタ（6台）、レーザープリンタ（17台）

オンライン授業用WEBカメラ整備

オンライン授業用の学校教師用WEBカメラを全クラス分整備（203台）
89万円



貸出用Wi-Fiルーター整備

インターネット環境のない家庭へ貸出用Wi-Fiルーターを整備し、オンライン授業に備える
 Wi-Fiルーター（300台）
 通信費（72台分）
944万円



※令和2年11月以降
 オンライン授業訓練を実施予定

GIGAスクールサポーターの配置

GIGAスクールサポーターの配置を委託し、学校現場を技術的に支援
 4人（6か月間）
816万円



GIGAスクール構想の前倒し整備

議案第94号 参考資料 (その1)

整備区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
校内LAN整備 (繰越事業)		前倒し			
小5・小6・中1		前倒し			
中2・中3			前倒し		
小3・小4				前倒し	
小1・小2					前倒し



新型コロナウイルス対策
1人1台端末の早期実現

整備区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
校内LAN整備 (繰越事業)		前倒し			
小1から中3		前倒し			

予算科目	10 教育費		最終予算額	不用額	執行率		部
	款	項			本年度決算額	執行率	
	01	教育総務費			45.5 %		教育委員会事務局
	02	事務局費	230,618千円	275,882千円	(参考)当初予算額		学校教育課
	07	学校情報化推進事業		506,500千円	506,500千円		
	02	学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業					
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕		国補 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 95,495千円				
目的	児童生徒が1人1台のタブレット型パソコンを利用できる環境を国の補助事業を活用して整備する。						
主要な事務・事業の概要	市内小中学校に高速通信が可能な校内LANを整備するとともに、各学校と庁舎間（サーバー室）の光回線の高速化を行った。また、各学校からの通信を集約してインターネットに接続するサーバー室の機器を更新し、通信の高速化を行った。		<p>○ネットワーク機器購入費 25,846千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品購入費 25,846千円 <p>庁舎側ネットワーク機器の購入（統合型ネットワーク管理機器 5台）</p>				
	○事務費 26千円						
	・ 事務用品等消耗品費 26千円						
	○高速通信ネットワーク工事 201,787千円						
	・ 工事委託料 196,485千円						
	市内全小中学校（23校）の校内LAN工事費						
	学校・庁舎間光回線高速化工事費						
	・ 通信機器等設定業務委託料 5,302千円						
	庁舎側ネットワーク機器設定						
	○ソフトウェア購入費 2,959千円						
	・ ソフトウェア使用料 2,959千円						
	庁舎側制御ソフトウェア（無線アクセスポイント管理ソフト他）						
成果・課題	<p>○児童生徒が1人1台のタブレット型パソコンを利用するための高速校内LAN・光通信回線及び、庁舎サーバー室の整備を行うことができた。</p> <p>○校務用パソコンなどの既存端末もトラブルなく接続することができ、学校現場の負担や混乱等特になく、スムーズに事業を実施することができた。</p> <p>○整備した情報通信ネットワーク全体の効率的な維持管理に取り組みが必要がある。</p>						

予 算 科 目	款 項 目 事 細 事	10 教育費		最終予算額	不用額	執行率		部	教育委員会事務局	
		本年度決算額				99.9 %				
		01 教育総務費		450,985千円	124千円	(参考)当初予算額	千円	課	学校教育課	
		02 事務局費								
		07 学校情報化推進事業								
		03 GIGAスクール情報機器等整備事業		450,861千円						
			国補	公立学校情報機器整備補助金						
		26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源							
		[26 未来を拓く学校教育の充実]								
		目的	国のGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台のタブレット端末をはじめ必要な情報機器等の整備を行うとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止等による休校の際に、ICTの活用によりオンラインによる授業などができる環境の整備を行う。							
		主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 学校用インターネット光回線通信料 378千円 ・委託料 通信機器等設定業務委託料 990千円 GIGAスクールサポーター派遣委託料 (5人) 7,810千円 ・備品購入費 電子黒板 (未導入の教室分、計52台) 36,190千円 電子黒板接続装置 (既設電子黒板用、計151台) 2,986千円 職員室ファイルサーバー (2台) 6,837千円 児童・生徒用タブレット端末 (3,832台) 324,730千円 教職員用タブレット端末 (420台) 35,591千円 プリンタ (50台) 28,320千円 	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	
		目的	<ul style="list-style-type: none"> ・通信運搬費 学校用インターネット光回線通信料 378千円 ・委託料 通信機器等設定業務委託料 990千円 GIGAスクールサポーター派遣委託料 (5人) 7,810千円 ・備品購入費 電子黒板 (未導入の教室分、計52台) 36,190千円 電子黒板接続装置 (既設電子黒板用、計151台) 2,986千円 職員室ファイルサーバー (2台) 6,837千円 児童・生徒用タブレット端末 (3,832台) 324,730千円 教職員用タブレット端末 (420台) 35,591千円 プリンタ (50台) 28,320千円 	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	443,832千円	
		結果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒及び教職員に1人1台のタブレット端末を整備するとともに、プリンタ・職員室ファイルサーバーを整備し、GIGAスクール構想の実現に向けた学校ICT機器整備を完了することができた。 ○電子黒板未設置の教室に追加整備し、全普通教室及び特別支援教室へ電子黒板の整備を完了することができた。 ○コロナ休校に備えオンライン授業の実施環境を整備することができた。 ○整備した機器を有効活用するとともに、GIGAスクール構想の実現に向けた教職員・児童・生徒のICT活用能力の向上を推進していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料 貸出タブレット端末用フィルタリングソフト使用料 416千円 ・備品購入費 家庭用貸出Wi-Fiルータ (300台) 6,121千円 学校用WEBカメラ (全クラス1台、計203台) 492千円 	7,029千円	7,029千円	7,029千円	7,029千円	7,029千円	7,029千円
		※令和2年度は、新型コロナウイルスによる休校がなかったため、オンライン授業は未実施。								